

一色醒川 いっしょくせん 詩人。明治十年七月七日兵庫縣生れ、四十二年十一月一日歿（一八七七一—一九〇〇）。本名義朗。筆名一色白浪、夢涯、夢涯生、白浪、白浪生、醒川生。雜誌『文庫』に詩文を投稿し、横濱夜雨、河井醉茗等と親交。明治二十九年上京して醉茗主宰誌『女子文壇』記者となる。この間の二十一年神戸教會で受洗、綱島梁川公傾倒し、宗教詩人として名を遺した。

著書『水あふひ』（夢涯名、合著、明治二十二年二月）、『九百内外出版協會』、『秋遊道禪帖』（本名、編、明治二十六年八月一日兵庫・田中内記刊）、『頌業』（明治二十九年十一月、二十五日東京華堂書店）等。